

令和4年度第1回学校評議員会実施報告書

1 期 日 令和4年6月21日（火） 15：40～16：30 *授業参観 15:00～15:25

2 出席者

(1) 学校評議員

工藤 靖夫（岩手町立川口中学校校長）【欠席】

小澤 啓一（教育振興会長）

藤原 徳治（岩手町教育委員）【欠席】

山口 和顯（岩手町商工会青年部長）

宮田 京平（歯科医）

(2) 学校側

校長、副校長、事務長

総務主任、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事

3 会議の概要

(1) 学校評議員委嘱 自己紹介

(2) 学校長挨拶

- ・ 本校の教育にご理解とご協力をいただき感謝いたします。
- ・ 新入生 25 名 全校生徒 97 名、順調にスタート。新型コロナウイルス感染症の対応も変化し、行事も昨年度同様に実施。応援歌練習、前期中間考査終了。これから三者面談・体育祭を実施。県高総体・東北大会での活躍。ホッケー部男子徳島インターハイ出場。
- ・ 岩手県立沼宮内高等学校経営計画について。昨年からの文言の整理、指標を若干変更。
- ・ 少子化の進行と盛岡地区への中学生の流出に伴う、本校入学者の減少。志望者の増加が現在の課題。今年度から県外募集、3名が入学。岩手町との協働・連携も順調。手厚い支援もいただいている。取組の成果が表れ始めている。
- ・ 県規程では1クラス減の対象。町とともに来年度の猶予を申し入れている。
- ・ 盛岡北地区等 19 中学校訪問。県外も訪問予定。地域みらい留学に年度内に参画予定。町との協働による総合的な探究の時間の充実。学校の魅力化を図り、生徒・保護者から選ばれる学校を目指していく。

(3) 学校概況説明

① 令和4年度の生徒の状況

- ・ 入学生：県外 3 名・滝沢 1 名・盛岡 1 名

② 令和4年度における主な対外行事・事業等

- ・ 新規事業に、岩手町公営学習塾、教育振興会補助の改定、震災学習列車、アイルランド訪問交流など実施。

③ 沼宮内高校紹介

- ・総合的な探究の時間では、商工会、地元企業の協力を得て実施。
- ④ 各分掌令和4年度重点目標
 - ・総務部：昨年度は感染症拡大により、PTA活動がなかった。今年度は可能な限り実施。
 - ・教務部：ICT活用授業に力を入れる。
 - ・生徒指導部：昨年度卒業生、半数以上が皆勤・精勤。問題行動が昨年度、数件あり。今年度もあり。生徒会が携帯電話使用に係るルールを決めた。
 - ・進路指導部：地元企業協力のもとインターンシップ予定。
- ⑤ 沼宮内高校魅力化コンソーシアム及び学校運営協議会の設置について
 - ・年度内にコンソーシアムを開催し、令和5年度から学校運営協議会を立ち上げる予定。現在、メンバーを検討中。評議員の皆さんにもご協力をお願いする予定。

(4) 主な質問・ご意見等

評議員「情報発信は生徒が行っているのか」

- 「ホームページは職員が毎日のように更新している。昨年から岩手町広報にも紹介ページができた。」

評議員「講師として授業に参加している。元気にあいさつしてくれる。外部講師による授業で言葉や内容が難しく理解していない生徒もいるようだ。生徒の目線で授業していく必要も感じている。」

評議員「県外生はどういうところに魅力を感じて志望したのか。いろいろな視点を拾い上げ発信していくことが大切。」

- 「2名はホッケー部所属。競技を継続できる環境に魅かれた。1名は岩手に縁があることに加え鉄道に興味がある。」

評議員「この1年間で岩手町との連携や公営塾の実施などどんどん進んできている。授業参観したが、皆しっかり取り組んでおり発言もあり感心した。目的を持った生徒が勉学に励むことのできる環境が整っており非常に良い。校長先生におかれては、職員が過ごしやすい環境を整えてほしい。」

評議員「青年部としても授業に協力。これをきっかけに岩手町との交流を増やし、岩手町に残ってもらいたい。現在検討している冬のイルミネーションを広げる予定で可能であれば高校生にも協力願いたい。」

評議員「皆勤・精勤数が半数ほどいる理由は、通いたいと思える環境が整っているのだと思う。学校・町の取組を調整しながら進めていってほしい。期待している。」

(5) その他

副校長：第2回の学校評議員会、コンソーシアムを1～2月に行う。